

# 令和5年度予算編成方針

総務部長

本市においては、事業・施策の7本柱のもと、すべての施策が移住・定住の促進につながるよう事業を展開している。福島グランパークへの戦略的企業誘致も好調に推移し、保育園の民営化や新給食センター建設などの整備も順調に進むほか、医療介護DXをはじめとするデジタル技術の導入にも取り組み、これまでの施策が着実に実を結びつつある。

一方で、厳しい財政状況の中、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立を図る対策をはじめ、8月に発生した大雨災害からの復旧・復興や防災・減災対策、公共施設・インフラ施設の老朽化対策、エネルギー価格・物価高騰対策など、喫緊の課題への対応に加え、陰りが見え始めた人口ビジョンへの更なる施策も必要となる。

そこで令和5年度は、これまでの事業・施策が、設定或いは期待された効果・成果が十分に得られているのか、今一度PDCAを廻す工程から始め、「暮らしやすさを日本一、実感できるまちづくり」「したいこと、能美市だったら叶うかも」に向けて、デジタル変革（DX）やグリーン化（GX）の推進などの諸課題に全庁をあげて取り組むことが重要となる。

よって、令和5年度予算は、喫緊の課題への対応や本市の更なる飛躍へ向け、事業・施策のスクラップアンドビルドを念頭に、下記に定める方針により編成を行う。

## 事業・施策の7本柱

- |              |                      |              |
|--------------|----------------------|--------------|
| ① 子育て・住環境の充実 | ② 産業振興・企業誘致推進・人財確保対策 |              |
| ③ 交流人口の拡大    | ④ 教育力の向上             | ⑤ 安全安心のまちづくり |
| ⑥ シティプロモーション | ⑦ 行財政改革              |              |

## 5つの方針・目的

- ① 社会経済活動との両立をより強固なものにするため、「withコロナ」に向けた新たな安全安心・家計・経済の強化策へ移行し、災害にも強い「まちづくり」を構築
- ② 「全庁をあげてDXを推進」し、地域課題・行政課題の解決を図り、能美スマートインクルーシブシティ構想を実現
- ③ 多種多様の産業集積が加速するなか、課題となる「人財確保」に向け多岐の事業を展開し、好調な企業誘致の効果を多分野に波及
- ④ いしかわ百万石文化祭2023、北陸新幹線県内全線開業を控え、「千載一遇のチャンス」を着実に掴むための効果的な事業を展開
- ⑤ SDGs未来都市として、誰もが「安全安心快適、健康に暮らし学べる」よう、脱炭素社会の実現や、市民・地域活動の支援、施設・設備の整備や体制の強化

## チャレンジ能美2019-2023

- 5か年の活動の軸となり、持続可能な発展に寄与する事業の展開（5年目）  
能美市誕生20年以降の方向性を見据えながら、持続可能な発展に向けて将来展望を描ける事業を「チャレンジ能美2019-2023」に位置付ける

## その他

- ・補正予算は制度改正、災害関連経費など止むを得ないもの、真に喫緊の課題解決に係るもの又は当初予算編成の中で協議したもの以外は、原則、行わない
- ・国、県の各種制度改正や新規財政需要の増加等がないか、常にその動向を注視すること
- ・具体的な予算要求の方法等は別途財政課長通知（予算編成要領）を熟読のこと

以上